



【最大】

【現状】

※9月30日16時時点

道路

(県管理道路)

25路線48箇所通行止め

国道249号、七尾輪島線など奥能登へのアクセスルートが遮断

17路線28箇所通行止め

孤立集落は実質的に解消

⇒引き続き、道路啓開に取り組む

水

約5千戸が断水

輪島市3,000戸、珠洲市1,750戸、能登町230戸

復電や水道管修繕により約3千戸 (▲約2千戸)

⇒引き続き、現地調査や水道管の修繕等を進め、早期復旧に取り組む

電気

約6,500戸が停電

約840戸で停電が継続

(内訳) 輪島市 約590戸、珠洲市 約250戸、能登町 10戸未満
⇒避難所および仮設住宅等への送電は9/26に完了

⇒立入困難な箇所は、道路等の作業現場へのアクセス改善に応じて順次、復旧作業を進める。設備に甚大な被害がなければ、作業当日から数日程度で送電予定。

通信

4市町の携帯電話
基地局の約30%が停波

輪島市、珠洲市、能登町、志賀町の292局

約10%で停波が継続 (2市)

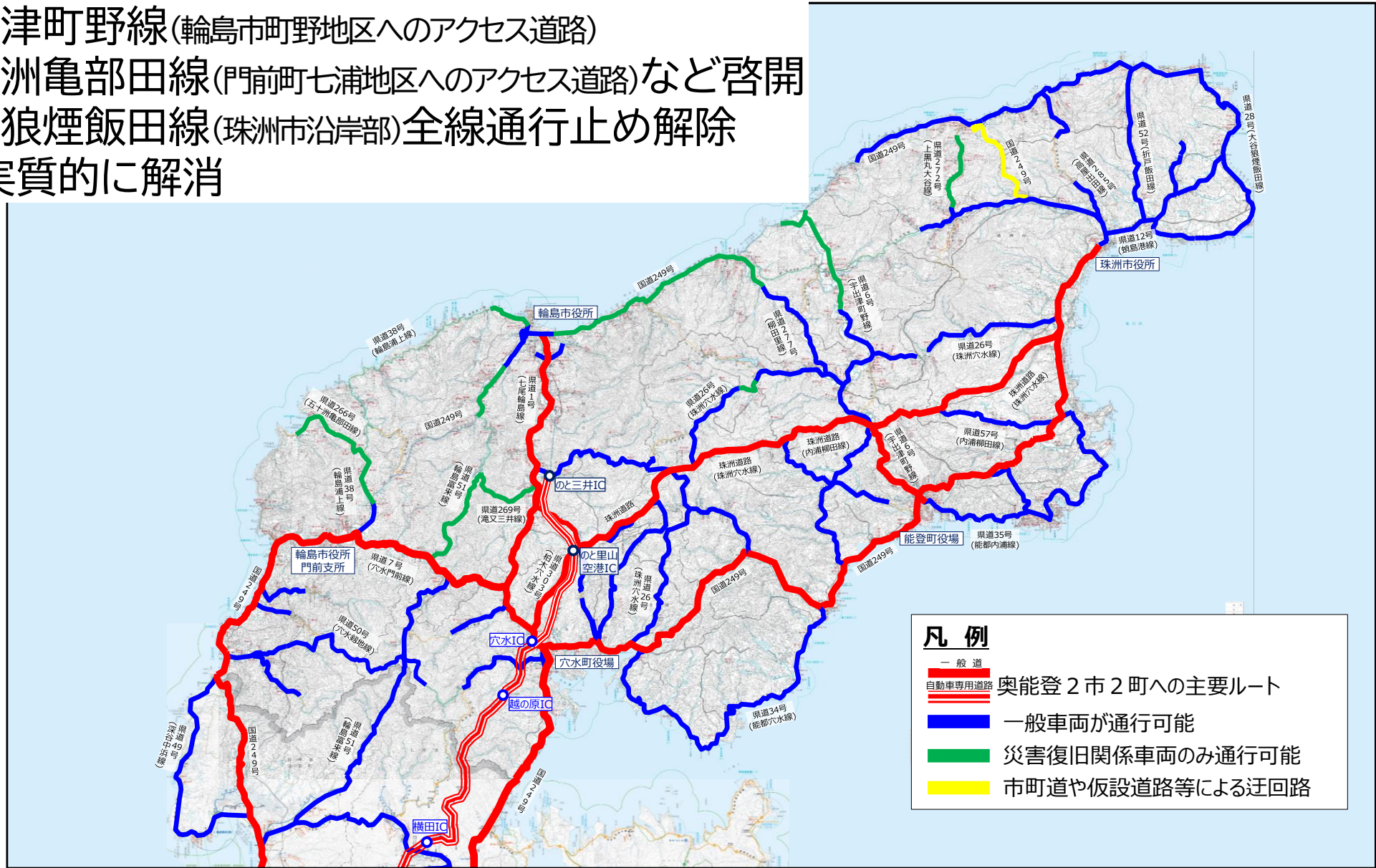
輪島市、珠洲市の84局
立入困難な箇所については、道路啓開後、原則3日以内に応急復旧予定

奥能登 2 市 2 町の「通れるマップ」を県のホームページで公開



令和 6 年 9 月 30 日 16 時時点

- 9月21日 七尾輪島線(輪島市街地へのアクセス道路)
- 9月23日 宇出津町野線(輪島市町野地区へのアクセス道路)
- 9月25日 五十洲亀部田線(門前町七浦地区へのアクセス道路)など啓開
- 9月27日 大谷狼煙飯田線(珠洲市沿岸部)全線通行止め解除
⇒孤立集落が実質的に解消



凡例

- 一般道
- 自動車専用道路
- 奥能登 2 市 2 町への主要ルート
- 一般車両が通行可能
- 災害復旧関係車両のみ通行可能
- 市町道や仮設道路等による迂回路

令和6年奥能登豪雨 水道施設の被害状況と対応



環境政策課 076(225)1463

- 停電の影響による水道施設の停止や水道管の破損により、3市町で断水が発生
9月24日時点 約5千戸 ⇒ 9月30日時点 約3千戸 (▲約2千戸)
- 停電については概ね解消。土砂崩れについては、順次除去作業を実施。
- 通水試験中の地区は数日程度、水道管の修繕には数週間程度、珠洲外浦など土砂災害による浄水場等の被害が大きい地区は数か月を要する。 ※被災状況に応じて、順番に作業を進めており、エリア内でも復旧時期は異なる。
- 現在、現地調査を進めており、今後の調査結果によっては更に時間を要する可能性があるが、引き続き、日本水道協会、国土交通省など関係機関の協力のもと、早期復旧に取り組む。

市町	地区	断水戸数	主な断水理由	復旧方針
輪島市	大屋・河原田	約 320	流入土砂による水道管破損	土砂除去の後、水道管の修繕・通水試験
	鵜巣	約 330		
	三井	約 30		
	七浦・浦上	約 320		
	町野・南志見	約 820		
珠洲市	上戸・飯田・正院 若山・三崎等	約 240	流入土砂による水道管破損	土砂除去の後、水道管の修繕・通水試験
	折戸・高屋	約 190	浄水場等へのアクセス道路が崩落	道路復旧後に浄水場等を復旧し、浄水機能確保
	大谷	約 200	流入土砂による浄水場被災	浄水場の大規模修繕が必要（復旧時期未定）
	清水・真浦	約 80	地震による早期復旧困難地区	(土砂災害あり、土砂除去後に被害状況を確認)
	鵜飼・善野・蛸島等	約 190		
能登町	柳田	約 15	土砂崩れ等で道路が崩落	土砂除去後、水道管の修繕・通水試験

令和6年奥能登豪雨 応援職員の派遣状況



被災地の災害対応を支援するため、**県及び県内市町だけではなく、国、全国の自治体から応援職員を派遣**いただいている。

派遣人数：10月1日現在

○県及び県内市町

・避難所運営、物資管理、罹災証明、リエゾン等の災害対応業務（28人）

県及び金沢市以南の全7市町（金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、野々市市、川北町）から派遣

※このほか、農地・農業用施設（ため池等）の被害調査、上下水道の被害調査・応急復旧などにも職員を派遣
また、能登半島地震の対応のため、県の幹部職員含め、県及び県内市町より約70人の職員を派遣するとともに、県で任期付職員を採用し、被災地に約50人派遣

○国

・各省庁のリエゾン（37人）

内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、環境省、文部科学省

※このほか、道路、砂防、河川等の被害調査(TEC-FORCE)、農地・農業用施設（ため池等）の被害調査(MAFF-SAT)にも職員を派遣いただいている



対口支援



TEC-FORCEの活動

○全国の自治体

・避難所運営、物資管理、罹災証明、リエゾンなどの災害対応業務（49人）

7県市（富山県、福井県、長野県、岐阜県、三重県、滋賀県、浜松市）から

総務省の応急対策職員派遣制度に基づき、災害対応業務を支援する「対口支援」により派遣

※このほか、応急給水、上下水道の被害調査・応急復旧などにも職員を派遣いただいている
また、能登半島地震の対応のため、中長期の応援職員を約300人派遣いただいている

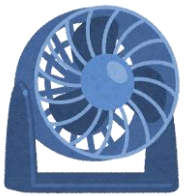
人事課 076(225)1240、
危機対策課076(225)1482

- 輪島市・珠洲市が被災者に、2次避難の意向を調査中
- 県は市の要請を受け、2次避難者の受け入れに取り組む
- 能登半島地震での対応を検証し、受け入れの円滑化を図るため、市内に窓口を設置し、県・市職員などが、健康チェックも含め、避難者情報を十分に把握
- 2次避難者の受入可能数 ※9月30日11時現在、定員ベース
36施設、約900人(うち、能登地域 22施設、約330人)

浸水した家屋の片づけについて



浸水した家屋は、細菌やカビが繁殖しやすくなるため、**清掃と乾燥が最も大切です！**
(乾燥させるには**サーキュレーター**等の使用が効果的です)



次の5つのステップで行いましょう

1 泥やゴミの除去

まずは泥やゴミを取り除いてください

2 清掃

泥やゴミが付着したものは必ず洗浄しましょう

3 乾燥

しっかり乾燥させましょう

清掃・乾燥が不十分だと消毒の効果が発揮されません（洗浄後の乾燥がとにかく大事）

4 消毒

家庭用の塩素系漂白剤などを使って消毒しましょう

5 乾燥

最後に徹底的に乾燥させましょう

最後の乾燥が不十分だとカビや臭いの原因になります



<作業時の注意点>

- ・マスク、ゴーグル、手袋等を着用し、防護しながら行ってください
- ・時間を決めて休憩と水分補給をし、体調に十分気を付けて作業してください

詳しい衛生対策と消毒方法などは
県HPをご覧ください



県災害ボランティアバスの運行

- 9月24日から県募集のボランティアバスの運行を開始
 - 民間NPOと連携し、受け皿を確保（9/24：40人 → 9/29：251人）
- 延べ 860人（9/24～30）が、泥かきや浸水した家財の搬出などの活動を実施
 - 現在、10月1～7日分で延べ 1,510人を募集中

ボランティアの裾野拡大に向けた取組

- 9月24日に「**工程共有会議**」を立ち上げ、市町・社協・民間NPOなどと連携し、ボランティア受入体制の構築や資機材調達など、**様々な課題に速やかに対応**
- 10月8日からは、参加者の利便性向上のため、**県庁駐車場（無料）を県ボランティアバスの経由地に追加**
- 県ボランティアバス以外の**自主的なボランティア活動**も含め、**県ホームページ・SNSなどで、広く参加を呼びかけ**

- 被災地では泥かきや浸水した家財道具の搬出に人手が必要です。
- 珠洲市・輪島市・能登町で災害ボランティアを募集しています。

ボランティア参加者を特設サイトで随時募集中



石川県災害ボランティア特設サイト



令和6年奥能登豪雨 災害義援金の受付



受付期間

令和6年9月24日（火）から令和7年3月31日（月）まで

現金の場合

受付窓口・募金箱を設置（平日9時～17時）

- 県庁（窓口：行政庁舎3階 出納室、募金箱：行政庁舎1階 総合案内）
- 小松県税事務所 ○ 中能登総合事務所 ○ 奥能登総合事務所
- 東京事務所 ○ 大阪事務所



振込の場合

受取口座名義	振込先銀行名	口座番号
石川県令和6年 能登豪雨災害義援金	北國銀行県庁支店	普通預金30433
	ゆうちょ銀行及び郵便局	00170-5-697953

※県のほか、日本赤十字社石川県支部、石川県共同募金会においても受付
※詳しくは県ホームページよりご確認ください



受付状況

件数：4,324件 金額：168,844,141円（9月29日時点）

※県のほか、日本赤十字社石川県支部及び石川県共同募金会で受け付けた額の合計